

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	地理探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	「新詳 地理探究 (帝国書院)」 「新詳高等地図 (帝国書院)」				
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 地理的現象のしくみを学び、世界の自然現象・地域社会を理解する。
- ② グラフ・図表等を使い地理的現象を読み取る。
- ③ 学んだ知識を使い応用力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	世界の人口問題		10月	世界の工業	
5月			11月	主題問題・問題演習	
6月	世界の気候のしくみ		12月		第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	世界の農業		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト 課題提出 |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト 課題提出 |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [授業態度 課題提出 小テスト |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	日本史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 アスリート
使用教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	詳説 日本史図録 第10版 (山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
 ② 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
 ③ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第7章 幕藩体制の展開		10月	第12章 高度成長の時代	第2学期中間考査
5月	第8章 幕藩体制の動揺	第1学期中間考査	11月	第13章 激動する世界と日本	
6月	第9章 近代国家の成		12月	主題学習・問題演習	第2学期期末考査
7月	第10章 二つの世界 大戦とアジア	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第11章 占領下の日本		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [定期考査 授業態度 課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	世界史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 アスリート
使用教科書	詳説 世界史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	ニュービジュアル 新詳 世界史図説 (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる
- ② 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う
- ③ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第8章 近代ヨーロッパ世界の形成		10月	第15章 冷戦と第三世界の独立	第2学期中間考査
	第9章 近代ヨーロッパ世界の展開				
5月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の発展	第1学期中間考査	11月	第16章 現在の世界	
	第11章 欧米における近代国民国家の発展				
6月	第12章 アジア諸地域の動揺		12月	主題学習・問題演習	第2学期期末考査
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動				
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第14章 二つの世界大戦		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [定期考査 授業態度 課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	地理探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	「新詳 地理探究 (帝国書院)」 「新詳高等地図 (帝国書院)」				
副教材等					

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 地理的現象のしくみを学び、世界の自然現象・地域社会を理解する。
- ② グラフ・図表等を使い地理的現象を読み取る。
- ③ 学んだ知識を使い応用力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	世界の人口問題		10月	世界の工業	
5月			11月	主題問題・問題演習	
6月	世界の気候のしくみ		12月		第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	世界の農業		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト 課題提出 |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト 課題提出 |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [授業態度 課題提出 小テスト |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	日本史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)
使用教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	詳説 日本史図録 第10版 (山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ② 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
- ③ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第7章 幕藩体制の展開		10月	第12章 高度成長の時代	第2学期中間考査
5月	第8章 幕藩体制の動揺	第1学期中間考査	11月	第13章 激動する世界と日本	
6月	第9章 近代国家の成立		12月		第2学期期末考査
7月	第10章 二つの世界大戦とアジア	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第11章 占領下の日本		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能	[定期考査 小テスト]
② 思考・判断・表現	[定期考査 小テスト]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[定期考査 授業態度 課題提出]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	日本史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 進学(文系)
使用教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	詳説 日本史図録 第10版 (山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- ② 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
- ③ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第7章 幕藩体制の展開		10月	第12章 高度成長の時代	第2学期中間考査
5月	第8章 幕藩体制の動揺	第1学期中間考査	11月	第13章 激動する世界と日本	
6月	第9章 近代国家の成立			12月	
7月	第10章 二つの世界大戦とアジア	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第11章 占領下の日本		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [定期考査 授業態度 課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	世界史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)
使用教科書	詳説 世界史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	ニュービジュアル 新詳 世界史図説 (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる
- ②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う
- ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第8章 近代ヨーロッパ		10月	第15章 冷戦と第三世界の独立	第2学期中間考査
	第9章 近代ヨーロッパ			第16章 現在の世界	
5月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世	第1学期中間考査	11月	主題学習・問題演習	
6月	第11章 欧米における近代国民国家の発		12月		第2学期期末考査
	第12章 アジア諸地域の動揺				
7月	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第14章 二つの世界大戦		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [定期考査 授業態度 課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	世界史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	5単位	学年・コース	高校3年 進学(文系)
使用教科書	詳説 世界史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	ニュービジュアル 新詳 世界史図説 (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる
- ②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う
- ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第8章 近代ヨーロッパ		10月	第15章 冷戦と第三世界の独立	第2学期中間考査
	第9章 近代ヨーロッパ				
5月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世	第1学期中間考査	11月	第16章 現在の世界	第2学期期末考査
6月	第11章 欧米における近代国民国家の発 第12章 アジア諸地域の動揺	第1学期期末考査	12月	主題学習・問題演習	
7月	第13章 帝国主義とアジアの民族運動			1月	
8月			2月		
9月	第14章 二つの世界大戦		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [定期考査 授業態度 課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	倫理(選択)				
教科	公民科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)・進学(文系)
使用教科書	高等学校 倫理 (第一学習社)				
副教材等	倫理ノート (第一学習社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める
- ② 人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促す
- ③ 良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	現代に生きる自己の課題		10月	人間としてのあり方・生き方	
5月			11月		
6月			12月		
7月	現代の諸課題と倫理	一学期期末考査	1月		二学期期末考査
8月			2月		
9月			3月		

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|--------------------------|---|
| ① 知識・技能 | [小テスト、定期考査、グループ学習、模造紙発表 |] |
| ② 思考・判断・表現 | [レポート課題提出、ノート提出 |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [授業態度、発問評価 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	政治経済(選択/必修)				
教科	公民科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)・進学(文系)・アスリート
使用教科書	高等学校 政治経済(第一学習社)				
副教材等	政治経済ノート(第一学習社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①広い視野に立って、現代社会に関する理解を深め、政治、経済、国際関係などについて客観的に理解している
- ②現代における政治、経済、国際関係などに関する諸課題について主体的に考察できる
- ③公正な判断力を持ち、良識ある公民として必要な能力と態度を持っている

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1編 現代日本政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済		10月		
5月			11月	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済	
6月			12月		第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第2章 現代日本の諸課題の探究		3月		

※高校3年生は第2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- 関心・意欲・態度 … 政治・経済と人間にかかわる事柄に対する関心・意欲・態度を高める
- 思考・判断・表現 … 政治体制成立や経済学成立の過程や結果を適切に思考・判断・表現する
- 資料活用の技能 … 有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける
- 知識・理解 … 政治・経済の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習や模造紙発表で資料活用の技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

また、1年間の評定は、1. 2. 3学期の成績を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定し